

Information

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま ☎048-643-5813

月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00

女・男プラザ ☎048-875-9653

金/10:00～17:00

浦和区役所 ☎048-829-6129

月・火・水・金/10:00～17:00

中央区役所 ☎048-840-6132

月・水/10:00～17:00

岩槻区役所 ☎048-790-0158

月・水/10:00～17:00

●法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま ☎048-642-8107

第2・第4水曜日 13:00～15:30

女・男プラザ ☎048-875-9966

第1・第3火曜日 13:00～15:30

●心とからだの健康相談(予約制)

女性のからだ全般、思春期、更年期における心とからだの悩み、家族の健康などの相談に医療の専門家が応じます。

パートナーシップさいたま ☎048-642-8107

第3月曜日 13:00～16:00

◎相談は無料です。◎秘密は厳守します。

図書のご案内

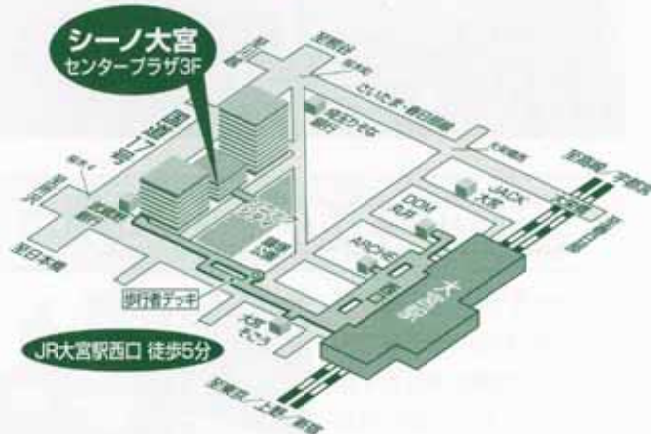
情報・資料コーナーで貸し出している図書のご案内です。



「男と女の家」

宮脇 禮著  
1998年<新潮社>

建築家である著者が、迫りくる死を意識しながら「家」への考えをまとめた本。まず、今日の日本では当たり前の持家志向が、実は戦後の政策によって生まれたものだという経緯。半面日本では他の国々に比べて、学校教育における住まいの扱いがお粗末すぎるということ。このような話をわかりやすく解説したうえで、そこに住む家族や子育てのあり方にまで、実に耳の痛い、それでいて実に温かい助言をしている。「会社に住みながら家に通ってくる」日本のお父さんたちが、家の設計の打合せには姿を見せず、ローンだけを背負って、単身赴任もいとわず過労死するほど働く、という日本のいびつな状況と、そこに育つ子どもを語る著者の温かな語り口には、読み手の誰もが引き込まれずにはいられないだろう。(著者は1998年逝去) (渡部 祐子)



シーノ大宮  
センタープラザ3F

JR大宮駅西口 徒歩5分

編集後記

「鐘の音」が中央や世間の風を単に「フォロー」するのではなく、あるべき姿をリードする内容を常に発信する広報紙に育ってほしい。

「手さへひの刺し針から今更まで」という箇の2年間編集活動を通して「真の男女平等とは？」を考へるよい機会になった。

「最近の男女共同参画」という官製運動に欠けているもの……「あ、これも今後の課題の1つ。」 (長谷川)

「FPとして仕事をしつづけて、母「女性」「人間として学ぶ日々。她には、公正証書の書き方」なる実務的な貸出本もあり「心なる男女共同参画への様々な視点多様性・奥深さを知った。形無きものを光り輝く未来へ」誌面を通じて感じ取って頂けたらと、筆を走らせていました。」 (田中)

「鐘の音」は、ややもすると、できない理由、を指折り数える私の背中を強く押し付けてくれました。編集とせいで出会った仲間たちには、きょうと学びのチャンスをもたらしたのです。大切なのは、学んだことを実践して活かすこと。これからもういっしょに……。」 (渡部)

【誌名「鐘の音」】大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま 報誌「鐘の音」Vol.8 2006年3月25日発行  
(編集・発行) パートナーシップさいたま(編集員/鈴木久美子・野田義章・長谷川寛・吉岡万里子・渡部祐子)  
さいたま市男女共同参画推進センター  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18(シーノ大宮センタープラザ3階)  
TEL.048-642-8107 FAX.048-643-5801 E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp



この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

# 鐘の音

Kane-no-Ne



パートナーシップさいたま  
さいたま市男女共同参画推進センター



「パートナーシップさいたま」でらっくじゅいっ...

もくじ

- さいたま市男性短期カレッジ - 生き方再考・私生活の充実へ! - .....2
- 講座・女と男のトレンド社会学.....3
- 女性のための起業セミナー.....3
- 学びから実践への第一歩.....3
- Information.....4